

アレクサンドラ・コバチュ駐日セルビア大使および ニナ・オアレ・アンタルウ駐日マリ大使が福島第一原子力発電所をご視察

日本及び世界における女性のエンパワーメント、女性の活躍促進に向け国際女性会議（WAW！2022）※1 が2022年12月3日に東京にて開催されました。その翌日12月4日、国際的な女性トップ・リーダーであるアレクサンドラ・コバチュ駐日セルビア大使およびニナ・オアレ・アンタルウ駐日マリ大使が、廃炉の状況を確認するため、福島第一原子力発電所をご視察されました。視察では、高台から、廃炉の状況を間近でご確認いただいたほか、多核種除去設備（ALPS）処理水関連設備をご覧になり、処理水のサンプルボトルも実際に手に取ってご確認いただきました。また、海水で薄めたALPS処理水を用いた海洋生物（ヒラメ、アワビ、海藻など）の飼育試験※2 もご視察いただきました。視察後には、「廃炉の状況を実際に見ることが出来て感動しました。この先、長い道のりですが頑張ってください。」とのコメントをいただきました。当社は、今後も、長期にわたる廃炉作業を安全かつ着実に進めてまいります。

※1 外務省ホームページ「国際女性会議 2022」

https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_003904.html

※2 海洋生物の飼育試験

<https://www.tepco.co.jp/decommission/information/newsrelease/breedingtest/index-j.html>



廃炉資料館での撮影



視察前の説明会



1～4号機外観を高台より視察

アレクサンドラ・コバチュ駐日セルビア大使（右端）

ニナ・オアレ・アンタルウ駐日マリ大使（右から2番目）



サンプルを用いたALPS処理水の説明